

令和2年度 市民センター事業について

(1) 生涯学習支援センター・区中央市民センター（拠点館）事業（予算額 51,032千円）

① 市民センターによる地域づくり支援 25,905千円【仙台市実施計画 平成31年度～32年度】

ア 「学びのまち・仙台 市民カレッジ」事業（1,012千円）

全市域の市民を対象に、社会ニーズや現代的課題に対応した専門的で質の高い学習の機会を創出することで、学びを通じた市民力の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進める。「公開講座（仙台再発見講座）」、「地域づくり・人材育成系講座（持続可能な地域づくり講座、学びのオーガナイザー養成講座）」、「現代的課題対応講座（市民プロデュース講座）」等を実施する。

イ 若者社会参画型学習推進事業（1,865千円） 5事業

地域づくり活動への参加を通して復興支援等の担い手となる若者の力を育むため、若者が身近な地域をより良くすることに関心を持ち、自発的・主体的に関わりを持つきっかけとなる講座等を実施する。

- ・ 若者によるまちづくり実践塾（青葉区）
- ・ まいぷろ（宮城野区）
- ・ 仙白園プロジェクト・人（若林区）
- ・ 仙台学生ネットワーク事業「つながりんぐ」（太白区）
- ・ I C P（Izumi Community Project）泉5大学まちづくり企画室（泉区）

ウ 住民参画・問題解決型学習推進事業（2,308千円） 16事業

各区中央市民センターのコーディネートのもと、住民と市民センターの協働により、地域課題を発見し、課題解決につながる活動を実践する事業を行う。

- ・ 地域元気クラブ（青葉区） 5事業
- ・ 地域の“絆”再生プロジェクト「地域づくり講座」（宮城野区） 4事業
- ・ わたしのふるさとプロジェクト（若林区） 1事業
- ・ 太白おやじネットワーク事業（太白区） 1事業
- ・ ちいきいきプロジェクト（泉区） 5事業

エ 子ども参画型社会創造支援事業（1,963千円） 8事業

小学校の児童から中学校・高等学校の生徒まで、子どもたちがそれぞれに地域社会の構成員としての意識を育みながら成長していくことを目指し、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる事業を実施する。

- ・ 地域盛り上げ隊（青葉区） 2事業
- ・ 宮城野区子ども参画プロジェクト（宮城野区） 2事業
- ・ 子どもボランティア事業・チャイルドボランティア「チャボ！」（若林区） 1事業
- ・ たいはくキッズリーダー育成事業（太白区） 2事業
- ・ 子どもまちづくり企画室（泉区） 1事業

オ 学習情報提供事業（18,757千円）

学習情報レファレンスシステムの運用管理等を行い、各市民センターが主催する講座や生涯学習に関する情報等をホームページ等で提供・発信する。

② 学びを支える人材育成事業 2,919千円

市民センター等の社会教育施設職員を対象に、必要とされる資質、知識、スキル等の向上を図る研修を実施する。また、社会教育施設での学びを支える市民（ボランティア）を育成する研修会を実施するほか、ジュニアリーダー育成支援を行っている。

③ 青少年健全育成推進事業（子どものための日本語講座 等） 759千円

日本語を母国語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活を送れるよう支援している。

（平成16年度開設、令和元年度：参加者数22名、34回開催、参加延人数 625名）

④ 成人学習振興事業（若い青年教室、せんだい日本語講座 等） 1,162千円

ア 若い青年教室

仙台市内に在住又は勤務している知的障害者青年に対し、仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として、学習機会を提供する事業を行っている。（昭和45年度開設、令和元年度：教室生30名、8回の教室を実施）

イ せんだい日本語講座

外国人等に日常生活に必要な日本語取得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。

（昭和63年度開設、令和元年度：662回開催、7,811名参加）

⑤ 高齢者学習振興事業（仙台明治青年大学：昭和41年から 創立54周年） 601千円

地区館の老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61歳以上の仙台市在住者）の学習団体である仙台明治青年大学の運営を支援している。

（令和元年度：824名在籍（うち新入生68名））

⑥ 地域社会教育推進事業（学びのコミュニティづくり推進事業 等） 3,066千円

子どもの健やかな成長を支援するための地域ネットワークづくりを目的に平成13年度より実施している。地域の様々な団体が連携し、児童、保護者、住民等を対象とし、地域の実情に合わせて子どもと大人の交流や自然体験、社会体験等の事業を実施している。

（令和元年度：34団体（うち委託団体 5団体）活動）

(2) 市民センター（地区館）事業（予算額 24,064千円）

・ 指定管理者：公益財団法人仙台ひと・まち交流財団（平成30年4月1日から5年間）

① 家庭教育推進事業（2,727千円）

子育て世代が育児や家庭生活について学び、親子のふれあいを深めることをねらいとする。

○ 事業内容例：子育て支援講座、親子ふれあい教室、よみきかせ講座など

② 青少年健全育成事業（2,466千円）

青少年がさまざまな体験を通じて学ぶ力を身に付けることによって心身の健やかな成長を培い、仲間づくりや親子・異世代の交流を図ることをねらいとする。

○ 事業内容例：ジュニアリーダーと遊ぼう、インリーダー研修、体験講座など

③ 成人学習振興事業（3,304千円）

幅広い教養を身に付け、さまざまな課題を学習する機会を提供するとともに、共通の課題や関心を持つ市民（受講者）相互の仲間づくりや交流を図ることをねらいとする。

○ 事業内容例：健康講座、市民企画講座など

④ 高齢者学習振興事業（6,119千円）

長寿社会の中で、高齢者が学習を通じた仲間づくりや交流によって、生きがいを持って社会生活を送ることができるようになることをねらいとする。

○ 事業内容例：老壮大学、高齢者の健康講座など

⑤ 地域社会教育推進事業（6,665千円）

市民や地域の団体等がイベントや体験活動などを通して、地域住民との交流や地域活動の推進を図ることをねらいとする。

○ 事業内容例：事業運営懇話会、防犯・防災関連事業、地域（自然・伝統）を知る講座など

⑥ 学習情報提供事業（353千円）

地域の資源（歴史、文化、自然、祭礼行事、施設、人材等）などの情報を収集し、地域住民の活動に活用できるようにするとともに、市民からの問い合わせに対し、サークル活動や学習情報、講師情報など、生涯学習に必要な情報を提供する。

⑦ 民間指導者育成事業（2,430千円）

自らの学習成果や経験を生涯学習ボランティアとして社会に生かす意欲のある人材を養成し、その活動を支援することをねらいとする。

○ 事業内容例：ジュニアリーダー育成支援、各種ボランティア養成など